

♪忘れられないの・・・

と、ひと夏の思い出を歌った昭和43年のヒット曲
『恋の季節』（作詞いずみたく）がありました。

「あの人」が言ったセリフよりも、着ていた服の
描写が先に出てくる歌詞でした。

装いに対する関心の高さは、曲のヒットから
さかのぼること四百年、織田信長の時代にすでに

見られています。経済の発達に伴い、暮らし
が活気づいた安土桃山時代、民衆が思い思いに
仮装して集う「風流踊（ふうりゅうおどり）」

青いシャツ着てさ

（青いシャツ着てさ）

海を見てたわ

（見てたわ）

が催され、信長公自身も天女の衣装をまとして
踊った、と「信長公記」に記されています。

その流れは江戸後期以降、郷土芸能「豊年踊り」
として定着、各地へ広まり今の「盆踊り」になった、
と云われています。

日本文化は「わびさび」に代表されるように、
簡素な精神性を尊ぶイメージがありますが、
並行して、衣装好みの気質も脈々と受け継がれて
きたのです。

※ボヌールデイへは、動きやすい服装でお越しください♪（リハ課より）

個別リハ

足首をほぐしながら
むくみや痛み、硬さ等、
今日の状態を確認します。



足首の関節の動きを
良くしておくことは、
歩行・立ち上がり・
階段昇降などの動作に
おいてとても重要です。



コーンクリーム
コロッセ
ブルーベリー
ムース

北海道の郷土料理
カニ寿司



三平汁

7/25はイベント食「花想い」ハレの日寿司でした♪

スイカは きいろが原種 だった件。



一般にスイカの果肉は**赤**。
そういえば**黄色**もあるよね、という認識ではないでしょうか。
ところが、もともとは**黄色**のスイカしかなかったのです。
その昔、エジプトの地に野生のスイカ(**黄**)が自生しており、旅人
が見かけて食べてみたところ、水分補給源としてたいへん優れて
いたので、もっとたくさん食べたい、美味しく改良して他の人にも
食べさせたい、と考え、スイカを栽培するようになったのです。
その後、品種改良を繰り返す中で、甘くする遺伝子は**赤**い色の
遺伝子と対になっているとわかってきました。
スイカを甘くしようとする過程で、色も**黄色**から**赤**へと変化。
現在の甘いスイカの起源は、4千年以上も前、古代エジプト人の
知恵と技術にあったのですね。

スタッフ手作りの型を使って
ポンポン、ポンポン・・・

自由な感じで
モシャモシャを貼りつけ、

暑中お見舞い
申し上げます

仕上げはペン習字

綿棒の先で、
チョン、チョン
・・・

創作レク風景